

Stage 3 More Stories B

The Barbecue

■ チェック！

P5 ビフはよく物を落っこしてしまっていますが、ここでも落とっています。

P6-7 使用済みのマッチ棒が増えていますね。でも、まだ大量のマッチがありますね。

隣のおじさんが、パパたちが気になるのか、いつも以上に近寄ってのぞいています。

ママたちはおしゃべりをしています。キッパーは背が低いので前が見えませんか。P8-9

パパたちは雨も気にならないようです。P 10-11 ママたちのおしゃべりは止まりません。

P13 パパはムキになって焼いているようです。子どもたちは、合羽を着ました。ママたちはおしゃべりを続けています。パパたちの上に雨水がたまってきています。

■ やってみよう！“ごっこ遊び”

網で焼いたお餅を、色んな味で食べよう！パパのように、

バーベキューのように、網でお餅を焼きましょう。

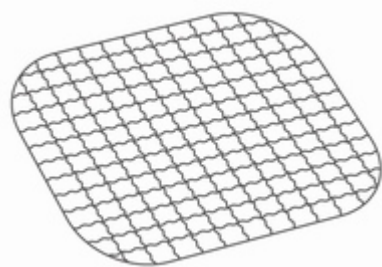
・網とお餅、調味料を絵に描いて用意します。

参考英語表現

rice cake(お餅), Ponzu(ポン酢), salt and pepper(塩コショウ) Wasabi(わさび)

Pass me the _____, please.

Pass me the soy sauce, please. (醤油取って) Here you are. (はい、どうぞ)



わさびをかけてしまったら、マズイ顔をしましょう。



みんなで食べるとおいしいね

ハンバーガー屋さんごっこ

英語で話してよう！

店員さん: May I help you?

お客さん: One hamburger, please.

店員さん: O.K. Here you are.

お客さん : Thank you. How much ?

店員さん: 200yen, please. (200 円です。)

店員さん: Here you are.

お客さん: Thank you.

店員さん: For here or to go ?

/Eat in or take away? (イギリス英語)

こちらでおめし上がりですか？お持ち帰りですか？

お客さん: For here.

店員さん: Large or small ?

L サイズですか。S サイズですか。

お客さん : Large, please.

店員さん: Next, please.

次の方、どうぞ

* 材料を増やして、ハンバーガーのメニューを増やしましょう。

(hamburger, bread, cheese, ham, potato, tomato, lettuce, egg など)

The Carnival

■ チェック！

P1 近所の人と一緒に、カーニバルの準備をしています。P5 パパの衣装を見たフロッピーはどんな気持ちでしょうか？ウィルマのママは、裁縫が得意です。P6-7 キツパーはせっかくの衣装が見えないですね。P 8-9 車の故障で、後ろが詰まっています。パパたちは焦りますね。P10 大人が頭を抱えている中、子どもたちが中心になってパレードを始めました。全員いい笑顔ですね。P12-13 巻性が上がっています。進行方向にビッグ・ベン (Big Ben*) が見えてきました。* イギリスの首都ロンドンのウェストミンスター宮殿にある時計台の大時鐘。鐘で時刻を知らせてくれます。

P14 -15 の文は、テーマとなっているマザーグース、“There Was an Old Woman Who Lived in a Boot”から引用されたものですが、She had so many children.が、子どもたちの輝きのある表情と重なってみえますね。

■ 調べてみよう！

ORT の挿し絵は思った以上に忠実で、子どもが知りたかったとき調べるのに、手がかりになるヒントを与えています。

例えば、このお話では、P6 Walton Street と書かれていますね。これをヒントに、イギリスの Carnival を調べてみましょう。



ハンティング帽

P4 子どもたちの衣装がかわいらしいですね。チップがハンティング帽をかぶっています。ハンティング帽は、19世紀半ば頃、狩猟用にイギリスで誕生しています。パパはイギリスの19世紀後半のメイドさんファッションです。



手づくりカードレース

本文の中から文を選んで3つに分けてカードを作り、箱に入れます。

箱の中から取り出して、正しい文を組み立てましょう。慣れている子は、キッチンタイマーで、3分間にいくつのセンテンスができるか、のように時間制限を設けて競争しましょう。

The children	dressed	up
--------------	---------	----

The giant shoe	looked	good
----------------	--------	------

The car	broke	down
---------	-------	------

At the Pool

■ チェック！

P 1 キッカーは窓からプールを見えていますね。まだ受付前なのですが、そのくらい楽しみだったのですね。P2-3 受付には、色んな案内や注意書きが貼られていますね。飛び込み台の男の人が震えています。P4 新しいプールだったのですね。

2 階の窓から見えていますが、楽しみなはずですね。(キッカーだけは背が届かないようです)P8-9 注意事項には、どんなことが書かれてあるでしょうか？ Staff Only(職員専用)のドアには、感電注意のマークがあります。P1 の飛び込み台の男の人がここにも出てきます。

■ 話してみよう！


このプールをどう思いますか？知っているプールと比べてみましょう。

* Stage 2 The Water Fight に、キッカーたちが普段利用しているプールが出てきます。

■ 絵本 At the Pool の中から見つけよう！

palm trees ヤシの木	a lifeguard 監視員
swimming caps 水泳帽子	diving boards 飛び込み台
goggles ゴーグル	changing rooms 更衣室
a whistle 笛	a hand grip ハンドグリップ



キッパーがお話の文章を使って、日記を書きました。は、キッパーが
忘れないように、イラストになっています。読んでみてください。

I went to the swimming pool.

Wilma's mum took me.

She took Biff and Chip, too.

It was a new pool.

Everyone wanted to swim.

I looked for my .

I couldn't find them.

I couldn't go in the pool.

"Sorry," said the man.

Wilma's mum was in the water.

"Oh dear," she said. Wilma's mum took me to a shop.

She bought me new .

We went back to the pool.

"Oh no!" I said. "I put them on at home."

Bull's-eye!

■ チェック！

P1 学園祭です。パパはウィルマの手をつないでいます。ウィルマはうれしそうですね。

P2 本の販売コーナーに、ORT の作家 Alex さんの本が陳列されています。このお話と似た、The Arrow(矢)という本も。左奥には手相コーナー(*)があります。(* a palmist 手相を見る人、FORTUNE TELLER 占い師)

P4-5 KICK AND SCORE がありますね。ウィルフは賞品の金魚をもらいました。P6 パパが的あてを始めました。ここから P8 の間に、的をはずした矢が増えていますね。パパは怒っています。係の人(いつもの用務員さん)は苦笑い、景品のテディたちは笑っています。P10 ウィルマは跳び箱に成功しましたが、パパはウィルマの競技を見ていません。P14 ウィルフの金魚はどうしたのかな？

■ 想像してみましょう！

パパが的あてをしていたとき、ずっとそばで見ていた犬がいます。この犬はどんなことを考えていたでしょうか？

■ やってみよう！

本文中の Dad を、お子さんの名前や家族の名前に変えて読んでみましょう。ウィルマのパパの気持ちが少しだけ分かる気がします。

■ 的あてを取り入れよう！

音読をする回数やお手伝いの場所を決めるとき、ダーツのようなゲームで決めると、楽しんで向き合えますね。小さいお子さんは、床の上に円を描いた紙を置き、おはじきを投げるようにしたもので OK。うまく命中したらごほうび枠も用意しましょう。

◎ORT にも出てくる取り入れてみたいゲーム例

Bull's-eye!	的あて
Kick and Score	ボール蹴り。
Hook a duck	アヒル釣り ORT の別のお話にも出てきます。 (Stage 1+ Hook a duck)
Spin the Wheel	ルーレット
Lucky Dip	宝探し袋、福袋 ORT の別のお話にも出てきます。 Stage 1The Street Fair
	子どもに馴染みがあるもので、 ほかに ring toss 輪投げ

他に、ORT の Stage 4 『The Balloon』で、当選者は熱気球に乗ることができる、くじ引きも出てきます。

使える英語フレーズ

I want to win a teddy. _____

I want to win a _____ .…勝ち取りたい。

Book Week

■ チェック！

P1 メイ先生が、後ろの掲示コーナーを読書週間に変えています。UP SPOOK HILL と書かれたポスターは絵本 Bears in the Night (Stan and Jan Berenstain)に出ています。読書週間の催しが貼りだされています。ウィルフは、押しピンをメイ先生に手渡しているのですね。展示されている本には、ORT の著者 HUNT さんの本があります。

P10-11 みんなは、何の仮装をしているのでしょうか？テーマとなっているお話によって、食べられるものも変わってきます。自分だったら、何の役をやりたいか話してみましよう。

■ 読書週間にどんなことをするか、みてみましょう。

児童文学の名作が続々誕生しているイギリスの読書週間は、イベントが充実していますね。

Monday: 本の展示

Tuesday: 本作り

Wednesday: 画家になろう

ブライアン・ワイルドスミス の絵本 Python's Party (ニシキヘビのパーティ) がテーマの絵を貼りだしました。

Thursday: 著者に会おう

作家さんが、絵本の読み聞かせをしてくれます。

Friday: Book Picnic

キッパーは、はらぺこあおむしのあおむしの仮装。食べ物もりんごとレタス。

■ やってみよう！

キッパーたちの読書週間をヒントに、本に親しみましょう！

「Book Picnic」で、キッパーは、はらぺこあおむしになりきっていましたね。登場人物と同じものを食べてみるだけで、親近感が増しますね。

ORT の絵本に親しんだ例をご紹介します。

- ORT の絵本の置き方を変えました。ホームセンターで買った芝生のジョイントマットが余ったので、棚の上に置いて、その上に ORT の絵本を陳列してみました。キッパーの庭が部屋の中にあるようで、絵本も必ず触っています。
- キッパー家のマネをして、ピクニックへ行きました。バスケットの中身は、サンドイッチとりんごとバナナとジュースです。子どもたちが同じだと言って喜んでくれました。
(ORT By the Stream より)
- ORT の絵本を子どもたちが読んでくれました。キッパーたちのように、プログラムを作って、飾りつけをして上演しました。キッパーたちはお手本になってくれています。

The Cold Day

■ チェック！

P1 砂浜を散歩している人はコートを着込んでいますね。キッパーが寒がるのも無理はないように見えますが、イギリスでは少々海水の温度が低くても海に入ります。P2 パパが海藻を髪の毛と髭に見立てて笑わせています。(海藻: seaweed)。P10 周囲に人がいなくなりました。ボール遊びもできますね。P12-13 パパはどのようにしてガウンを絞っているのでしょうか？このガウンはその後どうするのか見てみましょう。キッパーの寒がり方は普通ではありません。P14 キッパーはアイスクリーム屋さんの車に、ぴよんぴよん跳ねて行ってしまいました。



他の ORT との関連)

このお話は、Stage 3 At the Seaside の続きだそうです。

■ 子どもと話してみよう！

P16 ママもチップやビフも、キッパーを優しい眼差しで見ているね。キッパーのことをどう思っているのかな？

■ やってみよう！ 小さいお子さん向け

P2 のパパの顔をハンカチで隠しておいて、パッと見せてみましょう。パパは、キッパーを笑わせることはできませんでしたが、読者の子どもたちに人気です。

P16 アイスクリーム屋さんのアイスの名前は何でしょう？

その名前から、どんなアイスを想像しますか？

Icicle(つらら)

Arctic Rocket(北極、極寒のロケット)



Ice burger

Polar cap(極帽、極冠)

興味のあるお子さんは、意味も調べてみましょう。

The Cold Day ごっこ

用意するもの: タオルやタオルケットや毛布。

ママ: You look pale. Are you OK?

(顔色が悪いね。大丈夫?)

どちらかを答えさせます。

・Don't worry. I'm fine, thank you.大丈夫。ありがとう。

・I'm too cold.すごく寒い。(ふるふる震えながら)

子どもが、I'm too cold.と言ったらタオルを子どもの肩に巻いてあげましょう。

着ぶくれするくらい巻くと、盛り上がります。最後に、アイスクリームをあげましょう。

著者: 森藤ゆかり

「2000年、英語子育てサイト「R-Train」を開設。
以降、20年以上に渡り、英語子育て中のお母さんたちと情報交換を続けている。

息子りくくんが、ORTに出合ったのは4歳。
現在、バイリンガルに成長したりくくんの子育てや、コミュニティでの経験から、
英語が苦手なお母さんでもできる、英語の絵本に親しむアイデア、
また、家庭教育について幅広く発信している。

著書「+(プラス)えいごではなまる子育て」(アルク)「はじめての絵作文ブック」(すばる舎)ほか」